



(一社)
大垣労働
基準協会報



発行
一般社団法人 大垣労働基準協会
〒503-0803
大垣市小野4丁目35番地10 大垣市情報工房4階
TEL 0584-73-2272 / FAX 0584-73-2257
E-mail: o-roudoukijunkyo@aurora.ocn.ne.jp
URL: https://www.ogakiroukikyoo.com

年頭のご挨拶



大垣労働基準監督署長 大口 力生

新年あけましておめでとうございます。
一般社団法人大垣労働基準協会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、労働基準行政の推進につきまして、格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、労働災害・健康障害の防止対策、時間外労働の上限規制の適用をはじめとする労務管理の適正な運用、迅速・適正な労災保険給付の処理等を重点に取り組んでまいりました。労働災害防止に関しましては、「2023西濃STOP！転倒災害プロジェクト」に続き、令和6年も貴協会との連携による「STOP！労働災害 西濃止めるプロジェクト2024」を推進いたしました。

さて、当署の労働災害発生状況ですが、令和6年11月末で死傷者数352人と前年同期比で28人（8.6%）増、うち死亡2人（同2人増）となっています。

令和6年は、上記「STOP！労働災害 西濃止めるプロジェクト2024」の推進により「はさまれ・巻き込まれ」災害の減少を目指しました。この「はさまれ・巻き込まれ」災害は、令和6年11月末速報値では、被災者55人と前年同時比で1人（1.8%）の増加となっています。1月から6月の6か月間では、1か月平均6人の方が被災していましたが、当プロジェクトの取組期間である7月から10月の4か月間では、1か月平均3.75人と大幅に減少しており、当プロジェクトの成果と考えております。

一方、転倒災害においても、令和6年5月末では前年同時期比104%の増加となっていたものが、令和6年7月の「転倒災害多発緊急事態宣言」発令後は増加率に歯止めがかかり、11月末には前年同期比8.4%増まで持ち直しております。貴協会会員事業場の皆様方の真摯な取組の賜物と受け止めております。

当署といたしましても、引き続き労働災害の減少、死亡災害ゼロを目標に、種々取組んでまいりますので、昨年同様、労働災害の防止にご協力をお願いいたします。

労務管理についてですが、令和6年4月1日から自動車運転者、建設業及び医師についても時間外労働の上限規制が適用となりました。全業種の皆様方への上限規制の適用も含め働き方改革関連法の円滑な施行について、引き続き支援を行ってまいります。

労災補償給付につきましては、請求書の受理後、迅速な事務処理、認定基準等に基づいた公正な認定を行い、被災労働者の保護を図ってまいります。

今後も引き続き、迅速かつ適正な処理に努めてまいります。

今年1年の無災害と貴協会及び会員事業場の皆様方の益々の御繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 大垣労働基準協会

会長 小川 信也

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、当協会の運営に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

会員の皆様におかれましては、働きや

すい職場づくり、労働災害の防止のため懸命のご努力を頂いたことと存じます。

当協会は前年度に展開しました「2023西濃STOP！転倒災害プロジェクト」の地平を引き継ぎ本年度は「はさまれ・巻き込まれ」による災害の防止をテーマに「STOP！労働災害 西濃止めるプロジェクト2024」を大垣労働基準監督署のご指導のもと展開してまいりました。本プロジェクトには224もの事業場に参加をいただき、「はさまれ・巻き込まれ」災害防止のための実践を展開していただきました。残念ながら11月末時点での労働災害全体での件数では昨年同期比較で増加という状況となっていますが、プロジェクト参加事業場においては「はさまれ・巻き込まれ」災害はゼロなど一定の成果を得ることができました。また、参加事業場様からは多くの取組事例を報告いただいております。今後その具体的内容を皆様に協会ホームページ等を通じてフィードバックしてまいります。

「新はつらつ職場づくり宣言」については、大垣労働基準監督署からのご提案を受けて、宣言から3年を経過した事業場にはその間の取組を踏まえての再宣言も含めた呼びかけを行ってまいります。

昨年当協会に寄せられる会員の皆様からのご相談や支援のご依頼は「ハラスメント対策、熱中症対策、職場の高齢化にともなう労働災害防止対策」に関するものが多くを占めました。本年はこれらご要望にお応えできる講習会やセミナーを準備するとともに、教育講習の内容の拡充を図ってまいります。また、個別ご支援の要望にもこれまで以上にお応えできるよう努力してまいります。

皆様におかれましては、引き続き地球環境への負荷を削減する取組とあわせ「幅広い年齢の方にとって安全で健康的な働きやすい職場づくり」を目指していただきますようお願い申し上げます。

本年が会員の皆様にとって、労働災害のない明るい1年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和6年の労働災害発生状況(10月末集計値)

大垣労働基準監督署

大垣労働基準監督署管内の令和6年10月末における休業4日以上の労働災害(新型コロナウイルス感染症に係るものを除く。)は319人で、前年に比べて28人(9.6%)増加しており、このうち死亡災害は2人発生しています。

事故の型別でみると、転倒が73人(23%)と最も多く、次いで墜落・転落53人(17%)、はさまれ・巻き込まれ49人(15%)、動作の反動・無理な動作44人(14%)となっています。

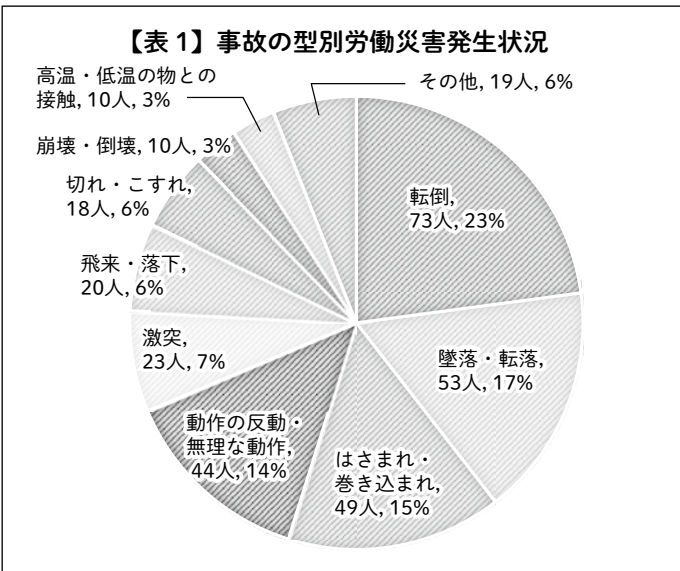
令和6年6月末においては、転倒が30.4%を占め、災害発生数も前年同期に比べて64.7%増加していたため、令和6年7月17日に「転倒災害多発非常事態宣言」を当署長名で発令しました。その後10月末時点で、転倒災害発生割合は5.8%増加と大幅に抑制されたものの、なお昨年よりも増えているため、引き続き転倒災害防止へ取り組むことが重要です。

また、令和6年7月から10月までの間、「STOP!労働災害西濃止めるプロジェクト2024」を展開し、地域を上げてはさまれ・巻き込まれ災害防止に取り組みましたが、全体でのはさまれ・巻き込まれ災害は10月末時点で前年同時期比6人(14%)増加となりました。動作を一旦止めて安全確認を徹底すること、危険箇所への対策等を継続して実施してください。

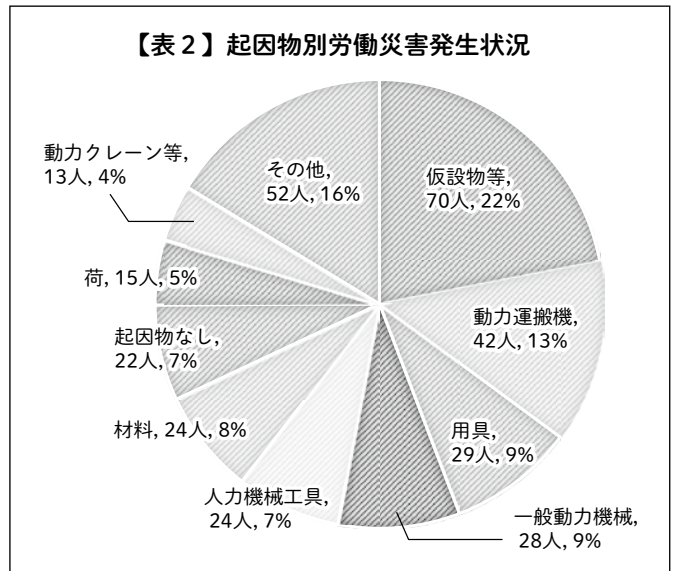
【表-1】大垣署管内の休業4日以上之死傷者数(死者数は内数)(除く、新型コロナウイルス感染症)

業種	10月末速報値の比較		令和6年		令和5年		増減数	
	死傷者数	死者数	死傷者数	死者数	死傷者数	死者数	死傷者数	死者数
全産業	319	2	291	0	+28	+2		
製造業	134	0	110	0	+24	0		
建設業	32	1	29	0	+3	+1		
鉱業	4	0	1	0	+3	0		
運送業	40	1	40	0	0	+1		
農林業	7	0	13	0	-6	0		
商業等	102	0	98	0	+4	0		

【表1】事故の型別労働災害発生状況



【表2】起因物別労働災害発生状況



死亡災害事例

【発生状況】

松の木の剪定作業中、三脚脚立の5～6段目(高さ約1.6m)に登って作業を行っていた際に、バランスを崩して地面に墜落した。

【災害の原因】

- 三脚脚立の開き止めチェーンに紐をつなぎ、製造メーカーの想定以上に脚を開いた状態で使用していたこと。

【再発防止対策】

- 三脚脚立を労働者に使用させる場合には、開き止め用固定金具を追加で設置して使用させること。



●労働安全衛生関係の一部の手続の電子申請が義務化されます

2025年（令和7年）1月1日より、下記の電子申請が原則義務化されました。

- 労働者死傷病報告
- 総括安全衛生管理者/安全管理者/衛生管理者/産業医の選任報告
- 定期健康診断結果報告
- 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告
- 有害の業務に係る歯科健康診断結果報告
- 有機溶剤等健康診断結果報告
- じん肺健康管理実施状況報告



電子申請をご利用いただくと、労働基準監督署へ来署せずに手続きすることができます。

- ★ 時間や場所にとらわれずに手続きが可能
- ★ スマホやタブレット、パソコン上だけで手続きが完了
- ★ 電子署名・電子証明書の添付は不要

ぜひ電子申請をご利用ください！

ハローワークからの耳寄り情報です

ハローワーク大垣

賃金引上げに向けた中小規模事業者への支援施策をご案内します！

賃金引上げに関する支援（キャリアアップ助成金）

有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者といったいわゆる非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを推進するため、正社員化、賃金引上げ等の処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成します。

なお、キャリアアップ助成金については、同一労働同一賃金に取り組む際やいわゆる「年収の壁」を意識した働き方への対応に取り組む際にも活用することができます。

雇用（人材育成）に関する支援（人材開発支援助成金）

従業員に対して計画に沿って訓練を実施した場合や、教育訓練休暇等制度を導入し、その制度に従業員に適用した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成します。

お問い合わせは、ハローワーク大垣助成金コーナー（0584-73-9296）までお願いします。

岐阜県特定（産業別）最低賃金が改正されました！

大垣労働基準監督署

最低賃金の名称	最低賃金額	効力発生日
岐阜県最低賃金	時間額 1,001 円	令和 6（2024）年 10 月 1 日
特定（産業別）最低賃金		
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	時間額 965 円	令和 5（2023）年 12 月 21 日 岐阜県最低賃金（1,001 円）を適用
自動車・同附属品 製造業	時間額 1,057 円	令和 6（2024）年 12 月 21 日
航空機・同附属品 製造業	時間額 1,049 円	

事務局・部会活動報告 大垣労働基準協会

※詳細は協会ホームページに掲載しています。写真、資料等をあわせて掲載していますのでぜひご覧ください。

【事務局】

- 10/10 岐阜県産業安全衛生大会（関市）
- 10/22 労務管理セミナー
- 12/ 5 年末年始無災害運動準備講習会（STOP! 労働災害西濃止めるプロジェクト2024 ゲームセット集会）
- 12/16 第2回理事会・運営委員会

【専門部会】

- 10/ 8 コンクリート製品部会 ハラスメント研修会
- 10/ 9 林災防 林業安全パトロール（揖斐川町）
- 10/24 林災防 木工事業所安全パトロール
- 11/ 8 化学部会 管外研修（愛知県高浜市）
- 11/13 林災防 林業安全パトロール（垂井町）

年末年始無災害運動講習会 —STOP！労働災害西濃止めるプロジェクト2024ゲームセット集会— 報告

(一社)大垣労働基準協会は大垣労働基準監督署との共催で、2024年12月5日大垣市情報工房5階シンクホールで、「年末年始無災害運動講習会—STOP！労働災害西濃止めるプロジェクト2024ゲームセット集会—」を開催しました。

当日は会場参加105名、WEB参加99名と多くの方に参加いただきました。冒頭大口大垣労働基準監督署長の開会挨拶のち、祖父江安全衛生課長から「年末年始無災害のために」として期間無災害のためのポイントの説明を受けました。ここから「STOP！労働災害西濃止めるプロジェクト2024ゲームセット集会」との位置づけで、大垣労働基準監督署より本プロジェクトの振り返り、はさまれ巻き込まれ災害防止のための取組好事例の紹介を行いました。また、「1日大垣労働基準監督署長」をはじめ本プロジェクト期間を通してご協力をいただいた「大垣ミナソフトボールクラブ」の選手にも参加いただき、いっしょに振り返りを行いました。

なお当日、特に好事例と評価された取組を提出された以下の事業場について「優良賞、敢闘賞」として壇上で表彰状が授与されました。表彰事業場は以下のとおりです。

【優良賞】	【敢闘賞】
清水建設（株）東海環状道庭田高架橋下部工工事業所	（株）久保田工務店
住友化学（株）大分工場岐阜プラント	東洋運輸（株）岐阜営業所
帝人（株）揖斐川事業所	（株）ハラテックス



STOP！労働災害 西濃止めるプロジェクト2024 をふりかえって

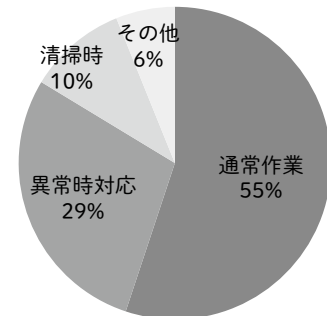
昨年7月1日より10月31日までを取組期間とするSTOP！労働災害 西濃止めるプロジェクト2024について、その実施内容と結果を振り返ります。

本プロジェクトは、昨年度の「2023西濃STOP！転倒災害プロジェクト」の地平を引き継ぎ今年度は「はさまれ巻き込まれ」災害をターゲットとするもので、地域から224もの事業場から参加宣言をいただくことができました。参加事業場のみなさまからは、数多くの取組が寄せられました。

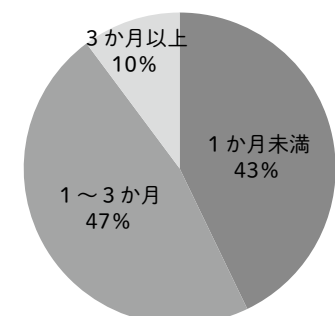
4か月間の実施期間中を終え、11月に入りその実施結果の集約を行いました。参加事業場のうちプロジェクト実施期間中休業4日以上労働災害がゼロだった事業場は224事業場のうち202事業場でした。この間の地域全体の労働災害件数を11月末現在の状況を昨年同期比で見ますと、残念ながら+28件、8.6%の増加という結果になりました。また「はさまれ巻き込まれ」による災害では、6件、14%の増加となりました。（その内訳は右のグラフを参照）しかしながら、プロジェクト参加事業場における休業4日以上のはさまれ巻き込まれ災害はゼロと一定の成果はあったところです。

みなさんからいただいた創意工夫、アイデアの詰まった取組事例については、今後その内容をフィードバックしてまいりますので、他の事業場の取組事例をぜひとも積極的に取り入れていただき、今後もゼロ災害めざしてより進化した取組を展開いただきますようお願い申し上げます。

はさまれ巻き込まれ災害の内訳



休業見込み期間による内訳



岐阜労働局長優良賞を授与された 鹿島・岐建共同企業体 竹田所長様 にインタビュー！

本年度の岐阜労働局長安全衛生表彰について西濃地域からは、優良賞に「鹿島・岐建特定建設工事共同企業体（太平洋工業東大垣工場新プレス工場新築工事：大垣市）」様、奨励賞に「(株) 日生化学工業所岐阜工場（安八町）」様、「(株) ビーエムアイシー（池田町）」様が表彰されました。

また（公社）岐阜県労働基準協会会長表彰には「(株) タイルメント大垣工場（大垣市）」様、「西濃建設（株）（揖斐川町）」様、「安藤兼徳（林材業労働災害防止協会県支部安全衛生指導員）」様が表彰され、10月10日関市で開催された岐阜県産業安全衛生大会において表彰式が行われました。

今回、岐阜労働局長優良賞を授与されました「鹿島・岐建特定建設工事共同企業体」の竹田所長様にお話を聞いてまいりました。

【太平洋工業（株）東大垣工場新築工場の概要について】

延床面積48,658㎡の鉄骨2階建、大型のプレス機械を稼働させるため、堅固な基礎工事、最深7mのピット設営などを含む工場の新築工事です。現場は「伊吹おろし」の吹き付ける箇所、これを前提にした施工計画を立てました。クレーン作業では絶えず風を確認しながら作業中止を含め慎重を期して行いました。また近隣のみなさまへの砂塵飛散防止に注意を尽くしました。施主様からは安全衛生面も含め工事の進捗についてご指導及びご理解をいただきながら施工することができました。

【1日の安全衛生施工サイクルについて】

毎朝の全員朝礼の後、当現場では各職方が各々の作業箇所においてKY活動と資機材の始業前点検を行います。昼の作業間連絡調整会議では午後及び翌日の作業確認を行います。また統責・元方による職場巡視を最低1回/日を行います。

【熱中症対策について】

朝・昼礼時、巡視時の声掛けを徹底して行うとともに、1時間に1回を目安に各職方に任せて「いつ休憩時間をとってもよい」としました。現場が広いことから、通常の休憩所以外に「ひんやりハウス」と名付けたエアコン設置の休憩所を増設しました。また不調と思われる者がいれば「様子を見ることなく急ぎ医療機関へ」を指導していました。

【働き方改革への取組】

標準とする時間外労働時間数を超えそうな月を6か月ごとに職員自らに予定をさせることで、それ以外の月はこれを超えないよう各自への意識付けを行いました。また、現場の裁量で「早出させたら早帰り」などをきめ細かく行いました。

【お話を聴かせていただいて】

特に印象的だったのは熱中症対策の中での「各職場に任せた休憩時間の取得」、「不調者は様子を見てからでなく）見ることなく医療機関へ」の言葉でした。熱中症重症化防止のポイントは「状況に応じての早い対応」です。素早い判断ができる体制づくりはとても重要だと感じました。



左から 小川協会長、竹田所長様、鹿島建設（株）中部支店関口部長様、岐建（株）児玉専務様



作業所開催の年度末安全大会

新はつらつ職場づくり宣言の再宣言・再登録について

大垣労働基準監督署

「新はつらつ職場づくり宣言」については、引き続き宣言・登録をお願いしていますが、すでに宣言、登録を行っている事業場において、その登録より3年以上経過した事業場についても、項目の見直し、新たな項目の追加による再登録についての取組みをご検討くださるようお願いいたします。

2024年度第2回理事会、運営委員会を開催しました

(一社)大垣労働基準協会は12月16日ソフトピアジャパンセンタービル内で、2024年度第2回理事会、これに引き続き2024年度運営委員会を開催しました。

理事会は理事・監事10名の出席により開会、議事においては、2024年度上半期までの事業報告、収支報告を事務局より行い、出席理事監事全員により討議の上承認されました。

引き続き別室にて、2024年度運営委員会を運営委員35名の出席により開催しました。冒頭小川協会会長はあいさつで、「STOP！労働災害西濃止めるプロジェクトには非常に多くの参加を頂いた。一方で大幅な災害減少とはならなかった。経済状況には不安定要素もあるが労働災害防止をはじめとした働きやすい職場づくりに向けての勉強に、今後もみなさんと力をあわせて継続してまいります」と述べました。来賓の大垣労働基準監督署大口署長様、安藤副署長様からは、行政からの報告に加え、「STOP！労働災害西濃止めるプロジェクト」の取組の結果についてご説明をいただきました。

その後「安全」、「衛生」、「労務」の各委員会事業場より上半期のそれぞれの取組内容と今後の課題について説明を行い、討議ののち承認されました。



第2回理事会



運営委員会

1月29日 「2024年度メンタルヘルスセミナー」を開催いたします



(一社)大垣労働基準協会は大垣労働基準監督署との共催で、2025年1月29日(水)13時30分より、大垣市情報工房5階シンクホールで、「2024年度メンタルヘルスセミナー」を開催いたします。

本年度のメンタルヘルスセミナーはテーマを「メンタル不調者への対応」とし、職場において労働者からの仕事や人間関係などについての悩みやメンタル不調、ハラスメント等に係る相談に対応する際、どのような点に留意すべきか、やるべきことはなにか、やってはいけないことはなにか、等について具体的に考える内容を目指します。これらの相談への対応においては、その対応を誤ることにより時に労働者からの信頼を大きく失ったり、さらに深刻なメンタル不調を招くケースもあるところです。

当日は、東海学院大学客員教授で岐阜県臨床心理士・公認心理師協会長の寺田道夫先生に「メンタル不調者への対応とその留意点」と題してご講演をいただきます。寺田先生は、教育現場にお勤めされた経験を活かし、心理的側面から人へのアプローチについての研究と実践を重ねておられます。悩みを抱える労働者にどう接していくかについて貴重な材料をご提供いただけるものと考えております。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

*** 各種講習会のお知らせ【大垣地区開催分】 *** 1月～4月実施分

*受講案内、申込書は当協会ホームページより最新版をダウンロードしてご利用ください。*定員になり次第締切ります。

*申込先 (一社)大垣労働基準協会 TEL 0584-73-2272 FAX 0584-73-2257
*講習会場 大垣市職業訓練センター 大垣市西大外羽1-226-1 他

講習名	開催日	講習名	開催日
特定化学物質・四アルキル鉛作業主任者技能講習	1月7日(火)～8日(水)	現場監督者・職長等安全衛生教育	2月12日(水)～13日(木)
玉掛技能講習	(学科)1月14日(火)～15日(水) (実技)1月20日(月)	フォークリフト運転技能講習	(学科)2月18日(火) (実技)2月19～21日、25～27日
併合講習(玉掛技能講習・クレーン運転(5t未満))	(学科)1月14日(火)～15日(水) (実技)1月16日(木)～17日(金)	リスクアセスメント教育(製造業)	3月3日(月)
特定粉じん作業特別教育	1月16日(木)	有機溶剤作業主任者技能講習	3月5日(水)～6日(木)
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1月22日(水)～24日(金)	小型移動式クレーン運転技能講習	(学科)3月10日(月)～11日(火) (実技)3月12日(水)
ガス溶接技能講習	1月30日(木)～31日(金)	特定化学物質作業主任者能力向上教育	3月14日(金)
玉掛技能講習	(学科)2月3日(月)～4日(火) (実技)2月7日(金)	新入者安全衛生教育	4月10日(木)
併合講習(玉掛技能講習・クレーン運転(5t未満))	(学科)2月3日(月)～4日(火) (実技)2月5日(水)～6日(木)	乾燥設備作業主任者技能講習	4月14日(月)～15日(火)
動力プレス金型取替・調整作業特別教育	2月6日(木)	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	4月21日(月)
有機溶剤作業主任者能力向上教育	2月7日(金)	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	4月23日(水)～24日(木)

事務局
編集後記

新年あけましておめでとうございます。
2024年は元日の能登半島地震に始まり、過去30年の平均温度より1.76度も気温の高い、きびしい1年となりました。「STOP！労働災害西濃止めるプロジェクト2024」に参加いただいた会員事業場様には感謝申し上げます。参加224事業場での「いったん止める」の取組・対策によ

りプロジェクト参加事業場での「はさまれ・巻き込まれ」災害が無く、十分な成果を達成できたものと思います。また、プロジェクトに取組むことにより、意識向上が高まる事が重要かと思えます。昨年同様「取組事例集」を作成し、大垣労働基準協会ホームページに掲載予定です。ご期待ください。
(ぎ)



ゼロ災つむりくん

1月29日(水)メンタルヘルスセミナーを開催します。ご参加ください。